

第2期阪南市総合戦略(素案)に対する意見と市の考え方について

1. 案件名 第2期阪南市総合戦略(素案)に対するパブリックコメントについて
 2. 趣旨 令和3年度から令和6年度までを計画期間とし、地方創生を図り、人口減少・少子高齢化社会への対策として、「誰もが住みたい、住んで良かった」と感じるまちの実現を目指すため、「第2期阪南市総合戦略」(素案)を策定するものです。

3. 意見の募集期間 令和2年12月28日(月)から令和3年1月29日(金)

4. 提出者 3名

5. 提出された意見等 27件

【ご意見の概要と市の考え方】

番号	該当ページ	意見等の概要	市の考え方及び対応	記載内容
1	全体	数値目標等の表に、表番号を追記	表番号を付していない表に、それぞれ番号を追記いたしました。	ご意見のとおり対応いたしました。
2	19ページ	基本目標3 施策の体系1.(3)として「観光周遊バス、レンタサイクル、各種観光マップ・標識作成の検討・実施」の追加。	ご意見のありました、レンタサイクル、各種観光マップなどについては、一般社団法人阪南市観光協会や民間団体と連携して、これまでに実施してきたところです。観光関連については、「基本目標3 施策の体系1.(1) 新たな集客交流事業の実現」に記載しておりますが、具体的な事業につきましては、いただきましたご意見を含めて、今後の施策展開の参考とさせていただきます。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
3	19ページ	基本目標4 施策の体系1.(3)として「企業誘致及び人材育成」の追加。	ご意見のとおり、企業誘致及び人材育成については、重要であるため、今後も進めてまいりたいと考えております。人材育成については、原案の「基本目標3 施策の体系2(2) 移住・定住の支援」中に「次世代リーダーの育成」として、また、企業誘致については、「基本目標4 施策の体系1(1) 新たな仕事の創業支援と既存産業の競争力の強化」中に「企業誘致が促進できる場所の確保に努める」と記載しています。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
4	21ページ	基本目標3・4 ターゲット層を中年期まで拡大。実質的定年の65歳化への対応	ターゲット層の設定については、創生委員会での意見等を踏まえ、第2期総合戦略では、主なターゲット層を絞り込んでおります。ご指摘の実質的定年の65歳化への対応については、現在策定中の次期総合計画の中で検討したいと考えています。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
5	32ページ	17行 まち全体で子育てを支えていく自身の子育て経験から、未就園児の一時保育と家事代行のサポートが一番助かると感じています。子育てが終わった女性など、地域の人々がサポートしてくれると、地域の絆づくりにもなると思っています。私も利用しているファミリーサポートを週6時間ぐらい、無償か安く利用できれば、ありがたいです。産前産後にも利用できれば、出生率も上がると思います。	ご意見のとおり、地域での子育てサポートは重要だと考えております。子育て世代の回帰という課題や、25歳から44歳の女性の就業率が府内平均よりも高い状況であることなどから、第2期総合戦略では、子育て世代をメインターゲットとして、「基本目標2 施策の体系1(2) 子育てしながら仕事ができる環境の醸成」を重点施策に設定したところです。いただきましたご意見を含めて、今後の施策展開の参考とし、女性活躍の推進を図ることで、出生数や子育て世代の市外からの転入者の増加につなげてまいります。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。

番号	該当ページ	意見等の概要	市の考え方及び対応	記載内容
6	36ページ	7行 継続的な教育プログラム提供を行えるような体制の整備 昨年、わかめの種付けと海苔すき体験に参加し、命を育む海の豊かさを知りました。今後も継続的に地域の自然について学び続けたいと思ったので、ぜひお願いします。貝塚市の遊学館のような施設があれば嬉しいです。	ご意見のとおり、自然についての学びは、本市の特徴であり大切なポイントであると考えております。 貝塚市の自然遊学館と類似の施設として、せんなん里海公園内に、海辺の生き物や海浜生物などを観察できる「さとうみ磯浜」や子どもたちに多様な体験学習の場が提供できる環境学習拠点としての交流館的機能を持つ施設「しおさい楽習館」がございます。 今後とも、教育活動に協力してもらえらる市民を増やし、継続的な教育プログラム提供を行えるような体制の整備を図ってまいります。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
7	39、42、47ページ	P.39 12行 賑わいの場の創出 P.42 30行 サードプレイスづくり P.47 13行 起業支援 和歌山市や泉佐野市で実施されているリノベーションスクールが、効果的ではないかと思ひます。	ご意見のとおり、今後ますます転入促進や地域活性化の取組みが必要になってくると考えております。 具体的な事業につきましては、いただきましたご意見を含めて、今後の施策展開の参考とさせていただきます。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
8	39ページ	15行 体験型観光の確立 私は引っ越しを決める2年前から、わいわい村や海洋センター、ネイチャー大阪、ZOOCANさんの自然体験プログラムに参加し、泉南、阪南、岬の豊かな自然とそこに集う人々の魅力に惹かれました。こうしたプログラムの参加者は大阪市内在住の子どもたちの自然体験に積極的な家族だったので、このような人向けに、自然体験+物件見学+私のような転入者への自由な質問の時間がある1泊2日ツアーがあれば転入促進にも効果的だと思います。		
9	41ページ	4行 里海公園の活性化 駐車料金の市民割引をしてほしいです。半額、もしくは年間パスのようなものの発行など。	せんなん里海公園については、大阪府営であることから、大阪府との連携のもと、多様な来園ニーズへの対応など、さらなる公園の活性化に向けて取り組んでまいります。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
10	44ページ	21行 受け入れ体制の整備や支援策の充実 1年間、空き家を安く借りられる、などの仕組みがあれば、気軽に住んでみようと思えるのではないかと思います。あと、車のない生活をしてきた人への教習所に通う時の託児サービスや、カーシェアリングの仕組みがあるといいのでは?と思ひます。	ご意見のとおり、U・I・Jターン希望者などに、移住先として阪南市を選んでもらえるよう、受け入れ体制の整備や支援策の充実が必要であると考えております。 具体的な事業につきましては、いただきましたご意見を含めて、今後の施策展開の参考とさせていただきます。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
11	22ページ	街頭犯罪発生率は0.1%以下と現状より数値を下げる。	第2期総合戦略の考え方といたしましては、現行の枠組みを維持しつつ、Society5.0やSDGsなど新たな視点を取り入れる方向で見直しを行っております。 そのため、数値目標については、原則、第1期総合戦略において未達成であったものについては、まず第一段階として第1期と同じ目標値としております。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
12	38ページ	移動増減数0/年は意欲が感じられないため、100~500人/年目標はどうか。		
13	36ページ	目標値を20%アップの70%くらいにされてはどうか。	重要業績評価指標については、第1期総合戦略の目標値を参考としてはございますが、第1期総合戦略で未達成であったもののうち、目標値と実績値で大きく乖離があったものについては、これまでの実績値等を参考に目標値を設定したのもございます。 また、新たに創設する事業等を重要業績評価指標とするものについては、制度の設立時期なども考慮した目標値を設定しております。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりといたします。
14	45ページ	目標値が低すぎ意欲が感じられない。もっと高い数値目標にすべき。	現状を見据えつつ、ご意見を参考に、目標値を達成し、超えることができるよう、効果的な取り組みの検討を進めてまいります。	
15	47ページ	創業者数は目標が低すぎ意欲が感じられない。もっと高い数値目標にすべき。		
16	48ページ	目標が低すぎ意欲が感じられない。もっと高い数値目標にすべき。		

番号	該当ページ	意見等の概要	市の考え方及び対応	記載内容		
17	22ページ	「…市民の割合」の表現は、回答する市民によって割合が異なるため、自主防災組織率、消防団員数、健診受診率など不変な別の目標にすべき。	第2期総合戦略の考え方といたしましては、現行の枠組みを維持しつつ、Society5.0やSDGsなど新たな視点を取り入れる方向で見直しを行っております。そのため、数値目標については、第1期と同じ目標としております。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりいたします。		
18	31ページ	「…市民の割合」の表現は止める。回答する市民によって割合が異なるため不変な別目標にすべき。				
19	38ページ	市民の割合%は止めて観光訪問人数に変更してはどうか。				
20	46ページ	市民の割合%は止めて、誘致企業数10社、支援企業数50社などの目標設定をする。				
21	全体	泉佐野市等、分かりやすく意欲ある数値目標を期待します。				
22	24ページ	防災関心市民の割合%の代わりに講座回数・参加者数等に変える。指標に防災組織団体数・加入数も追加する。			第2期総合戦略の考え方といたしましては、現行の枠組みを維持しつつ、Society5.0やSDGsなど新たな視点を取り入れる方向で見直しを行っております。そのため、重要業績評価指標については、原則、第1期総合戦略と同じ又は類似の項目としております。	左記のとおり対応いたしますので、記載は原案どおりいたします。
23	27ページ	指標として、市民通学通勤者に無料カード又は半額助成カード配布の追加。				
24	33ページ	指標として、不妊治療費助成対象出生数の追加。				
25	34ページ	指標として、児童医療費助成制度導入の追加。				
26	37ページ	肯定的な意見%は止め、外人講師授業回数やタブレット操作習得者数とする。指標として海外研修派遣制度制定・派遣人数10人の追加。				
27	39ページ	指標として、経済波及効果額の追加。平日休日滞在人口はどういう意味か分からない。				

*その他にも、個別事業等に係るご意見をいただきました。いただきましたご意見については、市内部で共有するとともに、今後の施策展開の参考とさせていただきます。